

ダイアログ（対話）・アプローチ

～ナラティブ・アプローチの進化系～

日程	平成31年2月14日(木) (10:00～16:00)
対象者	介護福祉関係者 及び興味のある方 推奨職員:(中級～上級・相談支援)
料金	会員(法人・個人)8,000円 ・ 一般10,000円
会場	振興会セミナールーム(横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階) みなとみらい線「日本大通り」駅 3番出口 徒歩5分

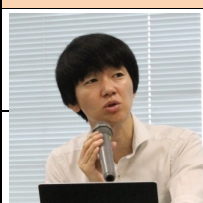
《カリキュラム》

- ダイアログ・アプローチとは
- 対人援助職としての
ダイアログ（対話）とは
- 対話実践のポイントと基本実習
～ダイアログの体験～
- ダイアログ・アプローチの実践
・ピアサポート

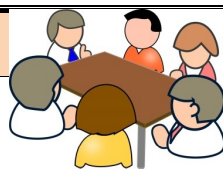
リアルで有り得ない状況の対話に
強くなる！

コミュニティケアのあたらしい技法 >>>
「ダイアログ」とは、話し手と聞き手とが理解を深めながら、互いに共感や意識・行動の変化を引き出し合う対話で、フィンランドでは、精神病治療として薬を使わない統合失調症の治療としても活用されているアプローチです。
本研修では、ダイアログ・アプローチの正しい知識を習得し、具体的な支援場面での対話的な関係を体験しながら、支援者との対話方法を学びます。

【 講 師 】



駒澤大学
教授 荒井浩道



1973年、群馬県生まれ。早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士(人間科学)、社会福祉士。早稲田大学助手、駒澤大学専任講師、准教授等を経て現職。東京都公立学校スクールカウンセラー、泉龍寺副住職等を兼務。シニア社会学会理事、日本社会福祉学会代議員、日本認知症ケア学会代議員。著書に『ナラティブ・ソーシャルワーカー “く支援” しない支援の方法』(単著、新泉社、2014年)、『ピア・サポートの社会学—ALS、認知症介護、依存症、自死遺児、犯罪被害者の物語を聴く』(共著、晃洋書房、2013年)など。日本老年社会学会奨励賞受賞(2012年)。

※会員の方は必ず法人名をご記入下さい。

法人名	
事業所名	
会員種別	() 会員 () 個人会員 () 一般
個人会員番号	

(公社)かながわ福祉サービス振興会(教育事業課) 行
FAX:045-671-0295
TEL:045-210-0788
 〒231-0023横浜市中区山下町23 日土地山下町ビル9階

連絡先	〈住所〉 〒 _____ (自 宅 ・ 法 人 ・ 事 業 所)
	〈mail〉 _____ @ _____
	〈電話〉 _____ (ファックス) _____
法人サービス詳細	① 特別養護老人ホーム ② 介護老人保健施設 ③ 介護付有料老人ホーム ④ グループホーム ⑤ 病院 ⑥ 訪問介護 ⑦ 通所介護 ⑧ 居宅介護支援 ⑨ 障害関係() ⑩ その他のサービス()

<参加者名簿>

お申込合計人数 (名)

No.	フリガナ 氏 名	性別	ご職業	経験年数	①参加費
1		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他()	年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
2		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他()	年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
3		男・女	①経営者 ②管理者 ③介護職員 ④ケアマネジャー ⑤看護職員 ⑥生活相談員 ⑦サービス提供責任者 ⑧その他()	年	1.会員(¥8,000) 2.個人会員(¥8,000) 3.一般(¥10,000)
連絡事項					